

48Gbps 1x2 HDMI

1入力 2/4出力 HDMI 2.1 HDMI分配器

●本マニュアルについて

本製品は高機能なHDMI機器のため、接続や設定によって動作が変わることがあります。ただし「映らない」「音が出ない」といった症状の多くは、故障ではなく、接続構成・EDID DIPスイッチの設定・起動順が影響している場合があります。本マニュアルには、本製品の使用中に発生する可能性のあるトラブルと、その際に役立つ「解決のヒント」「切り分け方法」を掲載しています。ご使用の際は大切に保管してください。万一、問題が生じた場合はご返送（返品）前に記載の接続例や解決ヒントをお試しください。多くの場合、設定や接続順を見直すことで改善します。それでも改善が見られない場合は、末尾の「改善しない場合」をご確認の上、販売元までご連絡ください。ご不安な点があれば、無理に判断せずお気軽にご相談ください。安心してご使用いただけるようサポートいたします。なお、本製品は予告なく仕様を変更する場合があります。本マニュアルの内容につきましても、確認が取り次第 随時見直し・修正を行っております。本マニュアルは実機による検証結果をもとに作成しておりますが、全ての環境で最適な動作を保証するものではありません。本マニュアルが、安心してご利用いただくための参考資料となれば幸いです。

●EDIDについて【重要】

本製品は、HDMI機器を中継・分配する際に、EDID（接続機器の対応情報）を入力機器へ返すことで、映像と音声ができる限り両立させる設計となっています。EDIDには、対応解像度、リフレッシュレート、VRR、音声フォーマット（Dolby Atmos等）の情報が含まれており、入力機器は1つのEDID情報をもとに、映像と音声の出力仕様を同時に決定します。本機器には EDID DIPスイッチを搭載しており、接続機器や使用環境に近いEDIDに切り替えながら、安定する動作条件を選んでご使用ください。なお、EDIDはHDMI機器同士の仕様や相性に大きく依存する仕組みのため、本機器のEDIDがすべての環境で最適な機能することを保証するものではありません。そのため、映像や音声の期待どおりに出力されない場合は、EDID設定の切り替えや接続構成の見直しを行ってください。

●eARC非対応モニター環境における制約

eARCに対応していないモニター環境では、映像を表示する機器（モニター）と、音声を再生する機器（サウンドバー/AVアンプ）が、HDMI信号上で異なる役割を担う構成となります。eARC 非対応のモニターには、Dolby Atmos等の高音質音声を受信・返送する機能がありません。そのため、音声をサウンドバー側で再生するには、HDMI入力端子（HDMI IN）を備えたeARC対応サウンドバー/AVアンプが必要です。このような環境では、高リフレッシュレート映像（VRR/120Hz）と高音質音声（Dolby Atmos等）を、常に同時に最大条件で成立させることはできない場合があります。

●主な特長

- ・HDMI入力信号を1入力2出力に分配できる HDMIスプリッターです。
- ・1台のHDMI機器の映像を、2台のテレビ/モニターに同時表示できます。
- ・ゲーム機（PS5/Xbox/Switch等）やストリーミング機器に対応しています。
- ・プレイ用モニターとキャプチャ機器への同時出力に適しています。
- ・会議・配信・録画・画面共有など、業務・個人用途を問わず幅広く使用できます。
- ・EDID DIPスイッチにより、接続環境に合わせた動作調整が可能です。

●主な仕様

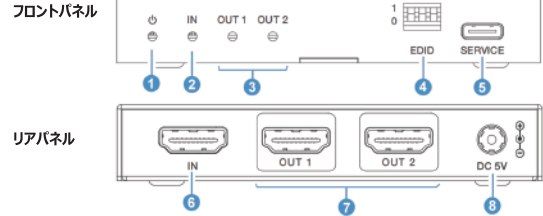
- ・HDMI 2.1 規格準拠
 - ・HDCP 2.3 / HDCP 2.2 / HDCP 1.4対応
 - ・48Gbps FRL / 18Gbps TMDS 映像帯域に対応
 - ・最大解像度：8K@60Hz（4:2:0 / 12bit）
4K@120Hz（4:4:4 / 12bit）※
 - ・VRR / FVA / ALLM 対応
 - ・HDR / HDR10 / HDR10+ / Dolby Vision / HLG パススルー対応 ※
 - ・対応音声フォーマット：LPCM 7.1ch / Dolby TrueHD / Dolby Atmos / DTS-HD Master Audio
 - ・各出力ごとに解像度自動タンスケール対応
 - ・各出力ごとに HDR→SDR 自動変換対応
 - ・EDID DIPスイッチによる EDID 管理機能搭載
- ※上記の仕様は、本製品が対応可能な信号規格・機能を示したものです。接続する機器の組み合わせ、EDID（接続機器の対応情報）の交渉結果、信号条件や設定内容によっては、すべての機能が同時に成立・動作するとは限りません。
- ※4K@120Hz+RGB 4:4:4-12bit VRR出力、及び Dolby Vision（12bit）は、規格上、非常に高い帯域及び厳しい信号条件を必要とするため、分配器を介した構成では、使用環境によって安定しない場合があります。

映像・音声性能			
HDMI規格	HDMI 2.1		
HDCP規格	HDCP 2.3		
ビデオ帯域幅	48Gbps		
対応解像度	最大 8K@60Hz（4:2:0 12bit）、4K@120Hz（4:4:4 12bit）		
対応カラー	8/10/12-bit、RGB、YCbCr 4:4:4 / 4:2:2 / 4:2:0		
HDR	HDR、HDR10、HDR10+、Dolby Vision、HLG 対応		
音声フォーマット	LPCM、Dolby Digital/Plus/EX、Dolby True HD、Dolby Atmos、DTS、DTS-EX、DTS-HD Master Audio、DSD など広範に対応		
接続端子			
入力	1 × HDMI IN		
出力	12- 2 × HDMI OUT / 14- 4 × HDMI OUT		
制御	1 × SERVICE（USB Type-C、アップデート用）		
外観・電源など			
材質・色	金属製・黒		
サイズ	12-W95×D68×H18mm / 14-W145×D68×H17mm		
重量	12-177g / 14-263g		
電源	入力 AC 100-240V、出力 DC 5V/2A		
消費電力	12-最大 4.3W / 14-最大 5.5W		
動作温度	0°C ~ 40°C / 32°F ~ 104°F		
保管温度	-20°C ~ 60°C / -4°F ~ 140°F		
相対湿度	20~90% RH（結露なきこと）		
推奨HDMIケーブル			
ビデオ解像度	8K60	4K60	1080P
HDMIケーブルの種類	ウルトラHDMI 2.1ケーブル	HDMI 2.0 ケーブル	HDMI ケーブル
HDMIケーブルの長さ（HDMI IN/OUT）	2m	5m	8m

※ウルトラハイスピードHDMIケーブルの使用を強く推奨します。

●付属品	・電源アダプター	・日本語マニュアル
------	----------	-----------

●各部名称・ポート説明



① 電源 LED	デバイスの電源が入っているとき、赤色のLEDが点灯します。
② 入力 (IN) LED	HDMI入力ポートがアクティブなソース機器に接続されているとき、緑色のLEDが点灯します。
③ 出力 (OUT) LED (1~2)	HDMI出力1/2ポートがディスプレイ機器に接続され、信号を出力しているとき、対応する緑色のLEDが点灯します。
④ EDID DIPスイッチ	DIPスイッチを使用してEDIDを設定します。 ・[DIP]=111: OUT 1ポートのEDIDをコピー（工場出荷時デフォルト） ・[DIP]=110: 4K60（4:4:4）、2.0CH ・[DIP]=101: FRL12G_8K_HDR、2.0CH ・[DIP]=100: FRL12G_8K_HDR、5.1CH ・[DIP]=011: FRL12G_8K_HDR、7.1CH ・[DIP]=010: FRL10G_8K_HDR、2.0CH ・[DIP]=001: FRL10G_8K_HDR、5.1CH ・[DIP]=000: FRL10G_8K_HDR、7.1CH
⑤ SERVICE	ファームウェアアップデート用ポートです。
⑥ INポート	HDMI信号入力ポートです。HDMIケーブルを使用して、DVDプレイヤーやPS5などのHDMIソース機器に接続します。
⑦ OUTポート (1~2)	HDMI信号出力ポートです。HDMIケーブルを使用して、テレビやモニターなどのHDMIディスプレイ機器に接続します。
⑧ DC 5V	DC 5V/2A 電源入力ポートです。

●4K@120Hz VRR と Dolby Atmos の同時利用について

4K@120Hz VRRとDolby Atmosの同時利用については、eARC対応環境での接続構成を前提とした場合に限り、成立する可能性があります。本製品を用いた実機検証環境においては、必須条件を満たした構成でのみ、同時成立が確認されています。

- 同時成立が可能となる必須条件：以下の条件をすべて満たしている必要があります。
 - ・HDMI入力端子（HDMI IN）を備えたeARC対応サウンドバー/AVアンプを使用していること。
 - ・入出力機器が 4K@120Hz VRR および Dolby Atmos の出力に対応していること。
 - ・EDID 設定および接続順が適切であること ※接続例は「接続図」をご参照ください。

●同時成立しない場合

上記条件接続図①を満たしていても、接続機器の仕様差・EDID交渉条件・信号帯域の制約により、4K@120Hz VRRとDolby Atmosが同時に成立しない場合があります。これは本製品の不具合や性能不足ではなく、HDMI/EDID/eARC 規格上の特性によるものです。その場合は、どちらを優先するかを決めた設定での運用が必要となります。

- ・映像を優先したい場合 →「映像優先設定」へ
- ・音声を優先したい場合 →「音声優先設定」へ

●映像優先/音声優先の設定について

本製品では、EDID DIPスイッチの設定によって「どの機器の能力を基準にするか」を切り替えます。高リフレッシュレート映像（VRR/120Hz）と高音質音声（Dolby Atmos等）が同時に成立しない場合は、優先したい出力を本機器のOUT1に接続した上で、EDIDを「111（COPYモード）」に設定してください。 ※EDID は環境や機器の組み合わせにより最適な設定が異なります。動作が安定しない場合は他のEDID設定もお試しください。

●映像を優先したい場合（VRR / 4K@120Hz 重視）

- 用途例：・ゲームを 4K@120Hz / VRR で快適に遊びたい
・音声は PCM（ステレオ）イヤホンスピーカー出力でも問題ない

設定手順

- 1.OUT1に（VRR / 4K@120Hz 対応）テレビ/モニター を接続します。
 - 2.EDID DIP を「111」または「000」に設定します。
 - 3.映像が不安定な場合、EDID DIPの全8パターンを順に切替えて最も安定する設定を選んでください。
- 動作の考え方 ・OUT1 に接続された表示機器の能力が最優先されます。
・VRR / 120Hz は成立しやすくなります。
・音声フォーマットは構成により制限される場合があります。

●音声を優先したい場合（Dolby Atmos / DD+ 重視）

- 用途例：・サウンドバー / AVアンプで Atmos を確実に出したい。
・映像は 60Hz でも問題ない。

設定手順

- 1.OUT1 に eARC対応サウンドバー / AVアンプの HDMI IN を接続します。
 - 2.EDID DIP を「111」または「000」に設定します。
 - 3.音声不安定な場合は、お使いの機器仕様に近い EDID設定へ切替え動作確認を行ってください。
- 動作の考え方 ・OUT1 に接続された音声機器の能力が最優先されます。
・Dolby Atmos / DD+ が成立しやすくなります。
・映像は 60Hz に制限される場合があります。

●EDID DIP 設定時の重要な注意点

- ・EDID DIP を変更した場合は、必ず完全電源 OFFから再起動してください。
- ・EDID は万能ではありません。→ 全 8パターンを試すことが、正しい使い方です。
- ・同じ構成でも、機器の組み合わせによって最適な EDIDは異なります。

●迷ったときの考え方

- ・「どれが正解か分からない」= 正常です。
 - ・EDID は 試しながら合わせる前提の仕組みです。
 - ・壊れている可能性はほとんどありません。
- 映像を取りたいか、音を取りたいか → それだけ決めて EDID を合わせれば大丈夫です。

●お困りのときは

映像が映らない / 音が出ない場合でも、多くは製品の故障ではありません。EDID DIPスイッチ設定の切替え、接続順の見直し、完全電源 OFFからの再起動を行うことで、改善するケースがほとんどです。下記の**「解決のヒントフロー（STEP1～STEP3）」**を上から順にお試しください。

●解決ヒントフロー

映像が映らない／音が出ない／VRRやDolby Atmosが有効にならない場合は、上から順に、STEPを飛ばさず確認してください。

STEP 1

まず「最小構成」で動作確認(最重要) 最初に、構成をできるだけシンプルにします。

- 1.出力は1台のみにして動作確認
- 2.HDMIケーブルは、可能であれば短いケーブルを使用
- 3.解像度は4K@60Hz、HDR・VRRはOFFに設定
ここで安定する場合→高帯域設定やEDID交渉が影響しています。STEP2へ
ここで不安定な場合→配線・接続順・機器個体差の可能性が。STEP3へ

STEP 2

高機能を「1つずつ」有効化する
高機能は同時にONにすると切り分けができません。必ず1つずつ確認してください。
有効化の順番(推奨)

- 1.4K@60Hz(安定確認)
- 2.4K@120Hz(VRR OFF)
- 3.VRR / ALLM
- 4.HDR / Dolby Vision
- 5.Dolby Atmos / DD+(ビットストリーム)

※途中で不安定になった機能が、原因となる場合がほとんどです。

STEP 3

再起動(EDID / eARCの再交渉)
EDIDやeARCは、再起動しないと反映されない場合があります。
【推奨:完全電源OFFからの再起動】

- 1.すべての機器の電源をOFF
 - 2.可能であればコンセントを抜いて1分以上待機
 - 3.以下の順番で電源ON
表示機器(TV/モニター)→サウンドバー/AVアンプ→本製品→入力機器(PS5等)
- ※EDID DIPスイッチを変更した場合は、必ずこの手順を行ってください。

STEP 4

CEC(HDMIリンク)の影響を確認。HDMIリンク(CEC)が原因で、誤動作する場合があります。
・一度CECをOFF
・再起動後、必要に応じてCECをON
※CECの動作はメーカー差が大きく、正常動作を保証するものではありません。

STEP 5

映像優先 / 音声優先を選択する
STEP1~4を行っても同時成立しない場合は、どちらを優先するかを決めて運用します。
☞詳細は「映像優先 / 音声優先の設定について」をご確認ください。

【注意事項・制約まとめ】

- DD+ / Dolby Atmos が出来ない場合(eARC非対応モニター環境)
eARC非対応モニター環境でDD+(Dolby Digital Plus)を楽しむには、以下の条件をすべて満たす必要があります。
 - 入力機器(Fire TV / PS5 / ゲーム機 / PC等)がDD+を出力できるコンテンツ・音声設定であること。
 - HDMI入力端子(HDMI IN)を備えたeARC対応サウンドバー / AVアンプを使用していること。
 - HDMI入力端子のないサウンドバーでは、この構成は成立しません。
- ※条件を満たしていない場合、音声はPCMまたは出力されない場合があります。

●4K@120Hz / VRR 利用時のご注意

4K@120Hz / VRRは非常に高帯域な信号となります。
本製品は対応仕様ですが、高帯域動作時は接続機器・ケーブル品質・配線長・電源状態等の影響を受けやすく、HDMIリンクの再同期により映像・音声が一瞬途切れる場合があります。
本製品は出力1優先設計のため、分配出力を複数使用する場合、帯域条件により出力2以降が不安定になる場合があります。また、VRR有効時、ダウンスケール機能は動作しません。
安定動作を優先する場合は以下をご確認ください：
・HDMIウルトラハイスピード認証ケーブルを使用し、ケーブル長を短くする
・出力1のみ使用する(出力2以降は未接続)
・出力2を使用する場合は、EDIDを適切に設定し、VRR / HDRをOFFにする
※本挙動は高帯域信号特性によるものであり、製品不良を示すものではありません。
※最終的な映像・音声の成立可否は接続機器全体の仕様および信号環境に依存します。

●RGB 4:4:4・12bit VRR/Dolby Vision (12bit) について

以下の信号は、規格上非常に高い帯域と厳しい条件を必要とします。
●4K@120Hz・RGB 4:4:4・12bit VRR
●Dolby Vision (12bit)
本製品を介した構成では安定成立を保証できません。
設定例(目安)
●VRR 使用時: 4K@120Hz・YCbCr 4:2:0・12bit
●Dolby Vision 使用時: YCbCr 4:2:0・12bit
※最適値は機器構成・配線環境により異なります。

●HDMIケーブル・配線距離(重要)

- 4K@120Hz / 8K@60Hz では
HDMI 2.1 認証「ウルトラハイスピードHDMIケーブル」を必ず使用してください。
 - 安定距離は、配線環境・機器相性により変動します。
 - 長尺配線では、HDMI AOCケーブル、またはHDMI延長器の併用をご検討ください。
- 切り分けのコツ:
まず短いケーブルで安定確認
→長尺のみ不安定なら、配線が原因の可能性が高いです。

●PS5 使用時の補足(改善する場合がある設定)

- 映像が途切れる場合 → PS5[映像転送速度]を-1 / -2に設定
- ブラックアウト・色が不安定 → 一時的にHDR OFFで確認
- DualSenseの3.5mm端子にイヤホン接続時
→ HDMI側のPCM音声出力されない場合があります。

●キャプチャ用途で使用する際の注意事項

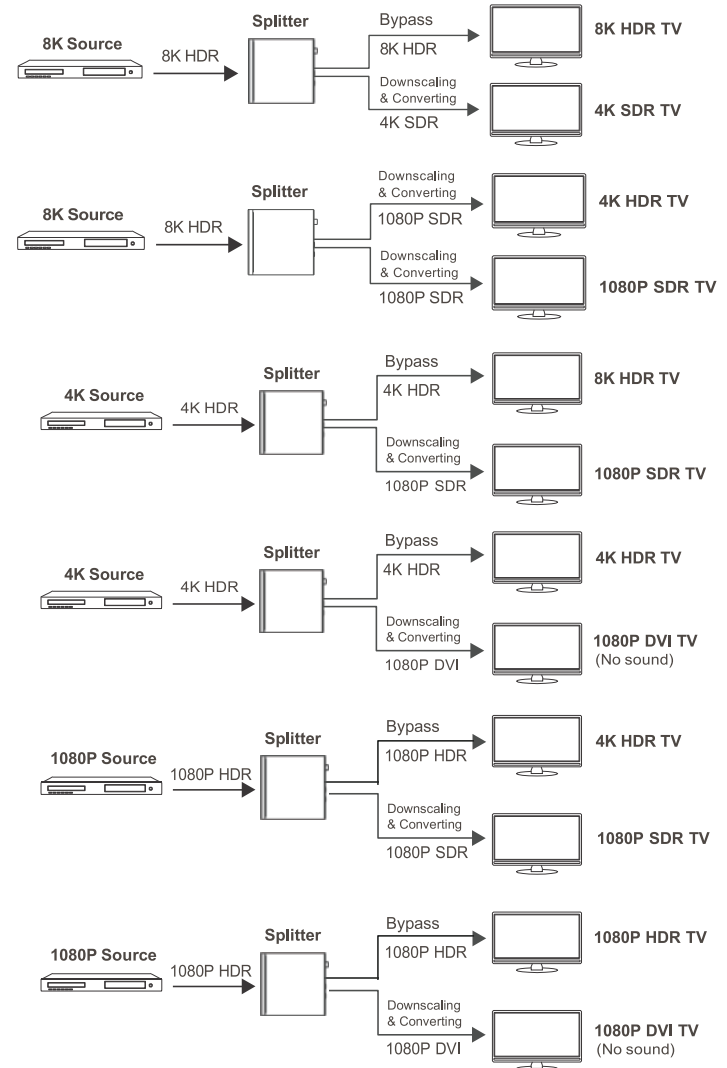
本製品を録画・配信・OBS等のキャプチャ用途で使用する場合、映像および音声の動作はキャプチャ機器およびキャプチャソフト側の仕様制限を受けます。
多くのキャプチャ機器では、仕様上Dolby Atmos / Dolby Digital Plus/DTSなどのビットストリーム音声を入力できないため、音声はPCM / LPCM 2.0ch(ステレオ)に制限される、または出力されない場合があります。これは本製品の不具合ではなく、キャプチャ機器・ソフトウェア側の設計による制約です。
キャプチャ時に音が出ない、またはノイズが発生する場合は、入力機器側の音声出力設定をPCM(48kHz)に変更し、Dolby/DTS等のビットストリーム出力を無効にして動作確認を行ってください。特にPS5やゲーム機、ストリーミングデバイスでは、この設定変更により改善するケースが多く見られます。
また、キャプチャ機器の仕様により、4K@120HzやVRRが入力非対応となる場合や、HDRが自動的に無効化される、色形式がYCbCr 4:2:0/8bitに制限される場合があります。
安定動作を優先する場合は、4K@60Hz / HDR OFFでの運用を推奨します。

●HDCP(著作権保護)について

本製品は、HDCP規格に基づいた信号の中継および再交渉を行う設計です。
著作権保護コンテンツ信号の解除を目的とした使用や保証・サポートは行っていません。

●自動ダウンスケール&自動変換機能

本製品(8K HDMIスプリッター・シリーズ)は、すべての出力ポートにおいて、独立した自動ダウンスケールおよび自動変換機能を搭載しています。
ダウンスケールを実行する前に、本機は接続されている全てのディスプレイ機器のEDID(ディスプレイ情報)を比較します。
その中で最も低い解像度を基準として選択し、それに合わせたダウンスケール信号を出力します。



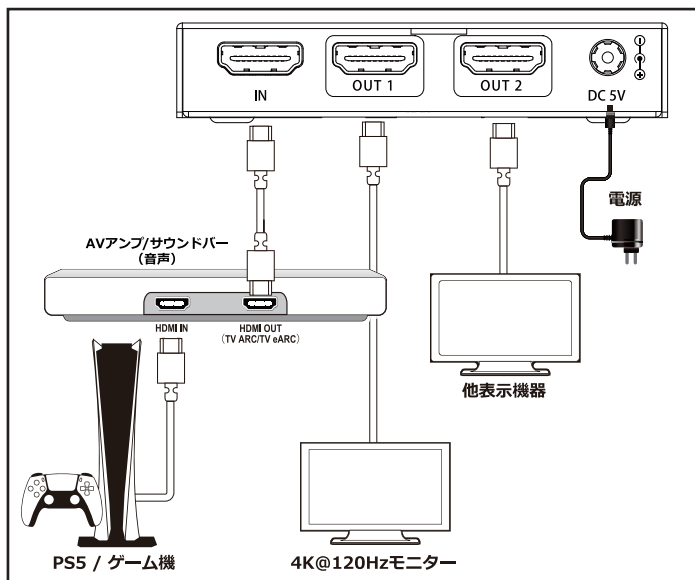
●ダウンスケール機能について

本製品は、接続された機器の性能に合わせて解像度を自動調整する「ダウンスケール機能」を搭載しています。ただし、以下の場合は正常に動作しないことがあります。
・テレビ側がDVI互換モードで認識された場合
→映像は表示されますが、DVI形式は音声を含まないため音は出ません。
・入力信号が特殊な8K圧縮形式(DSC)の場合
→ダウンスケール機能は動作しません。
・分配器が対応していない解像度信号が入力された場合
→映像が表示されない場合があります。
・4K120Hz+VRR使用時
高リフレッシュレートおよびVRR信号は非常に高帯域となるため、ダウンスケール出力が不安定になる場合があります。安定しない場合はVRR / HDRをOFFにしてご確認ください。

●解像度が異なる機器を接続した場合

性能の異なる機器を接続すると、両方で表示できる範囲に自動調整されます。高性能側の解像度がそのまま維持されるとは限りません。
※これは製品の故障ではなく、信号仕様による制限です。

図①
【eARC非対応モニター環境で4K120Hz/VRRとDolby Atmos/DD+を両立できる構成】
（条件付き）



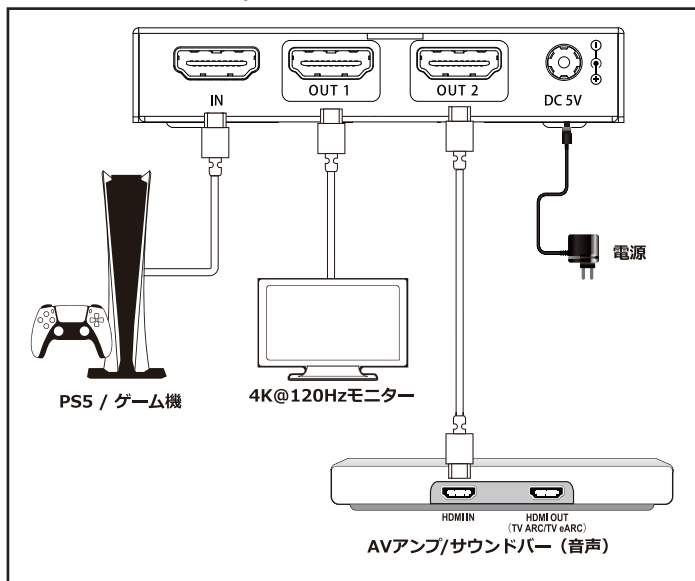
（サウンドバーを映像経路に含む構成）

【成立条件】

- ・サウンドバー／AVアンプが4K@120Hz/VRRの映像パススルーに対応していること
- ・HDMI IN 入力端子を備えた eARC対応サウンドバー／AVアンプであること
- ・再生機器およびコンテンツが Dolby Atmos (DD+) 出力に対応していること
- ・入出力機器およびゲームソフトが 4K@120Hz/VRR に対応していること
- ・EDID DIP スイッチ「011」に設定していること
- ・入力機器側で VRR有効／音声出力設定が適切であること

※接続機器の仕様・ケーブル品質・信号環境により動作は異なります。常時成立を保証するものではありません。

図②
【4K@120Hz/VRR/Dolby Atmos (DD+) 同時成立パターン】



（分配器 出力2へサウンドバーを直接接続する構成）

【成立条件】

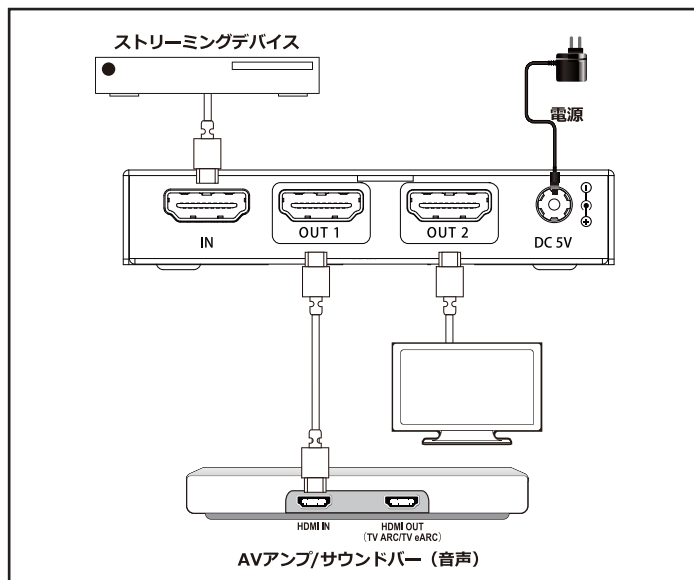
- ・分配器 出力1：4K@120Hz/VRR対応モニターへ接続
- ・分配器 出力2：HDMI IN 入力端子を備えたサウンドバー／AVアンプへ直接接続
- ・再生機器およびコンテンツが Dolby Atmos (DD+) 出力に対応していること
- ・入出力機器およびゲームソフトが 4K@120Hz/VRR に対応していること
- ・EDID DIP スイッチ「011」に設定していること
- ・入力機器側で VRR有効／音声出力設定が適切であること

【検証結果】

本構成において、実機検証では 4K@120Hz/VRR と Dolby Atmos (DD+) の同時成立を確認しています。

※接続機器の仕様・ケーブル品質・信号環境により動作は異なります。常時成立を保証するものではありません。

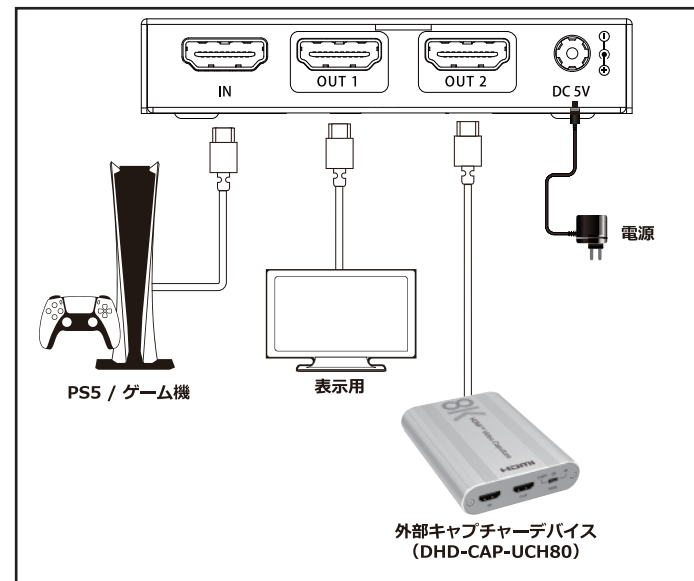
図③
【Dolby Atmos(DD+)音声優先】



【成立条件】

- ・分配器 出力1：HDMI IN 入力端子を備えたサウンドバー／AVアンプへ直接接続
- ・分配器 出力2：モニターへ接続
- ・再生機器およびコンテンツが Dolby Atmos (DD+) 出力に対応していること
- ・EDID DIP スイッチ「111」に設定していること
- ・入力機器側で音声出力設定が適切であること

図④
【ゲームプレイ+外部キャプチャデバイス併用構成】



※キャプチャ用途では、音声が PCM / LPCM 2.0ch に制限されます。

●保証・返品について

本製品には、ご購入日からの半年の製品保証が付属します。
保証内容は、正常な使用状態における自然故障を対象とします。
保証の際は、ご注文番号をお知らせください。
※誤使用、改造、落下、水没、天災等による故障は保証対象外となります。
返品・交換の条件および手続きは、Amazon.co.jp の返品・返金ポリシーに準拠します。
詳細は、Amazon の注文履歴より該当注文をご確認ください。
互換性を理由とした返品送料はお客様負担となります。

●改善しない場合：お問い合わせ時に必要な情報

下記を明記のうえ、お気軽にお問い合わせください。
・入力機器／出力機器のメーカー名・型番
・接続構成（入力 → 本機 → 出力）
・ご使用目的（例：120Hz優先、音声重視、キャプチャ用途等）
・発症症状（映像なし／音声なし／VRR不可／ノイズ等）
・可能であれば、出力解像度・EDID設定

●製品サポート・技術的なお問い合わせ先

本製品の仕様、接続方法、動作確認に関するご質問は、下記販売元へお問い合わせください。
【販売元】DAIAD(ダイアド) | 日本国内ブランド
Tel: 048-795-1598
メール: ishin@daiad.jp
住所: 〒339-0007 埼玉県さいたま市岩槻区諏訪 1-1-6-203